

携帯電話に「+（プラス）」から始まる番号から電話があり、応答したところ自動音声が流れ、「2時間後に電話が止まる。オペレーターと話すには1を押すように」と言うので1を押すと、男性が出て、個人情報を聞かれた。不安になり思わず電話を切った。本当に電話が止められてしまうのか。

（60歳代 女性）

携帯電話に「+」から始まる番号から電話がかかってきて応答したところ、大手電話会社などを名乗り、「あなたの電話が2時間後に止められる」「料金の未納がある」などと言われたという不審な電話の相談が寄せられています。

電話番号の頭に「+」がついた電話番号は国際電話であることを意味しており、アメリカ・カナダなら「+1」、中国なら「+86」、韓国は「+82」というように、発信元の国の番号が割り振られています。電話番号が表示されない国は「非通知」「通話不可」などと表示されることもあるようです。

国際電話を使った海外からの不審電話に、個人情報を伝えてしまうと、詐欺などの被害に発展する可能性があります。さらに銀行口座情報が流出すると、振り込め詐欺や、不正出金、マネーロンダリングに利用されてしまう危険性もあります。一度詐欺のターゲットとして認識されると、悪質商法や違法な営業の標的になりやすくなるのも問題です。

知らない番号からの電話には出ない、かけ直さないようにしましょう。万が一、電話に出てしまった場合、個人情報は絶対に伝えないでください。自動音声ガイダンスが流れた場合には、最後まで聞かずに電話を切ることが大切です。

不安に思った場合や、個人情報を伝えてしまった場合は、最寄りの消費生活相談窓口（消費者ホットライン「188」）や最寄りの警察相談窓口（警察相談専用電話「#9110」）にご相談ください。

なお、総務省では迷惑電話に関する相談受付窓口（迷惑電話対策相談センター「03・6162・1111」）を設置しています。特殊詐欺やその予防など、電話を安心して利用していただくための相談を受け付けています。